

4 / 3 日、4 日、10 日、11 日、17 日、18 日、24 日、25 日、28 日、29 日

4 月。新学期や新生活が始まる方、また、環境が変わらない方でも、この桜の季節にフレッシュな気持ちになるのはみんな同じではないでしょうか。自然にふれながら春の陽気をたくさん吸い込んで、今年度を乗り切るパワーを体に取り入れたいですね。

星空を眺めることも、自分が宇宙や自然の一員だという感覚や、うらかな季節にしたがっていろいろな活動を芽吹かせていく機運につながるかもしれません。

# コンパルホール 星空通信

2021 年 4 月号



## 【星空のみどころ】

この時期は、日の出の時刻がどんどん早まり、日の入りも遅くなり、明るい時間が増えますね。宵の空には 1 等台の明るい火星。夜明け前になると木星、土星が南東の空に昇ってきて、上旬には新月に向かう細い月が並んで見られます。17 日には月が火星に接近。

今月は、月と惑星が移ろいながら輝く様子を楽しめそうですよ♪



## 屋上・天体観測ドーム

東経 133 度 36 分 50 秒、北緯 33 度 13 分 55 秒に位置するコンパルホール。屋上(7階)には、直径 5メートルの電動回転式ドームがあります。最大倍率約 275 倍のニュートン式 300 ミリメートル反射式望遠鏡を 1 台、さらに、100 ミリメートル屈折式望遠鏡 4 台を備えています。観望時には指導員が星空の解説をおこない、望遠鏡の操作説明もします。大分の街中に、ふらりと星を見にいらっやいませんか？

## 今月の惑星情報

### 水星

上旬から中旬にかけて、日の出直前の東の低空に位置しています。19 日に外合となり、以後は日の入り直後の西の低空に位置するようになります。見かけの位置が太陽に近く、観望は難しいでしょう。

### 金星

日の入り後の西の低空に位置しています。見かけの位置が太陽に近く、観望は難しいでしょう。

### 火星

おうし座を東に移動し、下旬にはふたご座に入ります(順行)。宵の西の空に見え、明るさは 1.3 等から 1.5 等。

### 木星

やぎ座を東に移動し、下旬にはみずがめ座に入ります(順行)。日の出前の南東の低空に見え、明るさはマイナス 2.1 等からマイナス 2.2 等。

### 土星

やぎ座を東に移動しています(順行)。日の出前の南東の低空に見え、明るさは 0.8 等から 0.7 等。

## 2023 年、TOPIC! 宇宙寺院が建立される???

人々が宇宙に対して抱くロマンの源泉には、いにしえより私たちに“宇宙”のインスピレーションを与え続けてきた芸術や宗教の存在があります。芸術が扱う完全な「美」やその概念、また「神」と呼ばれるような完全に崇高な存在は「天の上にある」、多くの人はそのようにイメージしているのではないのでしょうか。

2021 年 2 月、衝撃的なニュースが飛び込んできました。京都の世界遺産でもある醍醐寺(真言宗醍醐派総本山)が、宇宙に寺院を開設すると発表したのです。縦 20cm×横 30cm×奥行 10cm 程の人工衛星内部にミニチュアの大日如来像や曼荼羅を搭載するもので、名前は「劫穢寺」と名付けられました。この「寺」は地球のまわりを周回し、地球の平和を祈るそうです。地上からは、願いごとを衛星へ転送して宇宙から祈願してもらふことや、アプリで衛星の位置を確認して空に向かって参拝することも可能なのだとか。

地球上には多くの宗教や信仰がありますが、長らく、天を遠く仰いできた人々の「祈り」の在り方が、テクノロジーとともに変化していく様は大変興味深いものですね。

★曇天時のお問い合わせ★

097-538-3700 (コンパルホール)

